



平成 30 年 11 月 2 日

各 位

上場会社名 光村印刷株式会社  
 代表者 取締役社長 阿部 茂雄  
 (コード番号 7916)  
 問合せ先 取締役経理本部長 嶋山 芳夫  
 (TEL 03-3492-1181)

## 平成 31 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と実績との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 30 年 6 月 8 日に公表した平成 31 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想数値と本日公表の実績値において差異が生じたのでお知らせいたします。

また、最近の業績の動向を踏まえ、平成 30 年 6 月 8 日に公表した平成 31 年 3 月期通期業績予想についても修正しましたのでお知らせいたします。

記

### 平成 31 年 3 月期第 2 四半期連結業績予想と実績との差異 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,050	130	150	60	19.30
実績値(B)	8,022	61	96	131	42.30
増減額(B-A)	△28	△69	△54	71	-
増減率(%)	△0.3	△53.1	△36.0	118.3	-
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	8,067	124	143	52	16.78

### 平成 31 年 3 月期第 2 四半期個別業績予想と実績との差異 (平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,900	130	90	28.96
実績値(B)	6,740	80	144	46.65
増減額(B-A)	△160	△50	54	-
増減率(%)	△2.3	△38.5	60.0	-
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 30 年 3 月期第 2 四半期)	6,917	122	88	28.45

平成 31 年3月期通期連結業績予想の修正（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,400	300	310	200	64.35
今回修正予想(B)	17,700	130	150	—	—
増減額(B-A)	1,300	△170	△160	—	—
増減率(%)	7.9	△56.7	△51.6	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 30 年 3 月期)	16,473	264	280	218	70.11

平成 31 年3月期通期個別業績予想の修正（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	14,000	250	180	57.91
今回修正予想(B)	13,700	150	180	51.56
増減額(B-A)	△300	△100	—	—
増減率(%)	△2.1	△40.0	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 30 年 3 月期)	14,056	219	224	71.97

修正の理由

当第 2 四半期累計期間においては、印刷事業における受注単価下落や配送用伝票の改定に伴う売上減少、電子部品製造事業におけるエッチング精密製品の売上減少により売上高が予想を下回りました。また売上高減少に加えて動力費等の固定費増加による利益率低下に伴い、営業利益、経常利益は前回予想を下回ることとなりました。当期純利益については投資有価証券売却益を計上したことにより、前回予想を上回ることとなりました。

通期業績予想については、第 2 四半期累計期間までの業績動向及び今後の見通し等を踏まえ、売上高は平成 30 年 10 月 1 日付で新村印刷株式会社を連結子会社としたことにより、前回予想を上回る見込みです。しかしながら、利益面では前述のとおり固定費・製造コストの増加や利益率の減少が継続することを想定し、営業利益、経常利益は前回予想を下回る見込みです。当期純利益は、新村印刷株式会社の株式取得に伴い、平成 31 年 3 月期第 3 四半期連結会計期間において「負ののれん発生益」(特別利益)の計上が見込まれますが、現時点においては計上額は精査中のため開示しておりません。判明次第お知らせいたします。

(注)本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的だと判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上